



VOL. 20 No. 4 The University of the Ryukyus Library Bulletin. 1987.12. 1

館長就任のご挨拶

米 須 興 文

去る10月1日付で附属図書館長を拝命いたしました。本学に就職してから二十数年、随分お世話になり、非力ながらもいくらかの研究業績を残すことができたのも図書館のお陰だと思っています。7月頃、館長就任の打診を受けたとき、自分の管理業務への不適性や万全ではない体調等を考えて辞退する気持ちの方が強かったのですが、あえてお受けしたのも、自分が利用して来た図書館への恩返し気持ちが働いたからです。

目 次

館長就任のご挨拶(米須興文) …………… 1	琉球大学附属図書館ファクシミリ利用内規 …………… 12
昭和62年度大学図書館職員	国立台湾大学より ⁸ 冠船日記 _の
長期研修に参加して(豊平朝美) …………… 2	マイクロフィッシュを受贈 …………… 13
第1回国立大学図書館協議会シンポジウム	本学教官著作寄贈コーナー …………… 14
(西会場) 参加報告(本郷清次郎) …………… 4	図書館事情 …………… 15
昭和63年度新規購入雑誌(和・洋) …………… 5	医学部分館コーナー …………… 17
昭和63年度購入中止雑誌(和・洋) …………… 6	年末年始の休館及び開館時間について …… 18
図書館業務電算化通信No7 …………… 8	ブラウジングコーナー …………… 18
琉球大学附属図書館貴重書取扱要項 …………… 9	
琉球大学附属図書館沖縄関係資料	
に関する取扱要項 …………… 11	

しかし、就任してみて懸念していますことは、すぐれたヴィジョンをもって図書館を強化向上してこられた歴代の館長の方々が敷いたレールをどこまで伸ばしていけるか、ということです。しかし、就任した以上、微力ながら最善を尽す覚悟をしております。

本学の図書館は、近年、めざましい発展をとげております。サービスの電算化、情報検索のオンライン化、郷土資料の収集、東南アジア諸国の図書館との協力関係の樹立及び国連寄託図書館指定獲得に象徴される図書館の国際化等、数えればきりがありません。サービスの面でも、開館以来の利用者本位の伝統を守り、国立大学のBクラス図書館としては、学生一人当たり利用率において抜きん出た実績を誇っています。こうした本図書館の長所は、今後も更に発展させていかななくてはならないと考えております。

しかも、他方では、まだまだ改善の余地を残していることも事実です。例えば、蔵書数において、本図書館は国立大学附属図書館の全国平均の65%を達成しているにすぎません。この点の改善においては、歴代図書館長の並々ならぬご努力と学内の皆様のご理解とご協力により、予算配分面で格別の配慮を賜わり、ここ数年に著しく前進をとげました。しかし、全国平均100%達成は、全学の悲願です。引き続き皆様のご協力をお願いする次第です。

また、図書収納スペースの狭隘も、本図書館の打開しなければならない焦眉の課題のひとつです。本図書館は、先にも申しました通り、郷土資料の収集や、国連寄託図書館としての資料の取得等によって特別にスペースを必要とする事情があり、新築6年目にして、すでに収容能力の限界に来ております。増築については、新築後10年を経てはじめて予算措置がとられるという慣例や、昨今の緊縮財政等の政府の都合もあり、増築を実現するのはたやすいことではありませんが、一步でも目標に近づくよう努力してみたいと存じます。

欧米の大学で教授を擲掄したことばに「間抜けの教授」という表現がありますが、間抜けぶりでは一人前の教授であると自負している私が、水も濡らさぬ注意力を必要とする組織運営の業務にどれだけ馴染めるか未知数ですが、皆様のご助言とご鞭撻と、有能な専門家集団である図書館職員諸氏の適切な補佐によって、無事任を全うすることを願っております。

(こめす おきふみ：法文学部教授 英文学)

昭和62年度 大学図書館職員長期研修に参加して

豊平朝美

7月20日から8月7日迄図書館情報大学で研修が行なわれることになり、年齢もオーバーしていたが、最後のチャンスと思い申込みをしたところ、一週間前になってようやく参加の通知をうけた。2、3日後、図書館情報大学のT氏から電話があり、今年は例年になく参加者が多く、申込みの宿舎は満室なので、他に変更したいがいかとの問いあわせがあり、断れば研修をとり消される

(?)のではないかと思います「よろしくお願ひします」と返事した。この返事のお陰で後になって楽しい研修生活を送ることになったのである。7月19日、午後からの宿泊手続きに間にあわず、朝一便で那覇をたった。羽田から浜松町へ、上野駅を經由して土浦駅で下車し、そこからバスで緑の広がる街路樹の美しい筑波学園都市を通りながら図書館情報大に着いた時は雨のふりしきる午後2時過ぎであった。宿泊手続きをすますと、中央大のF氏の車で熊商大のO氏、阪大のY氏、山口大のU氏と私を含めた5名が一緒になり宿舎へ向った。

20日は開講式があり、その後研修が始まった。午後5時過ぎから近くのエキスポセンターのレストランで懇談会が開かれ、主催者側の図書館情報大も多数参加し、自己紹介、カラオケ等もあり、楽しいひとときを送った。

研修の一週目は図書館情報大学を主会場に行なわれ、その間には筑波大学での研修、見学もあった。筑波研究学園都市は南北18km、東西6kmに及ぶ広大な面積を有し、二つの国立大学、各省の研究機関が多数所在する。その中で見学した一つに高エネルギー物理研究所があり、国内はもとより国外からも大学の研究者が共同参加しているという。世界最大級のトリスタン加速器を擁する施設の大きさにも驚いたが、機械の可熱を防止する冷房機の騒音はまるで莫大な電気を喰う化け物に見えた。研修期間中、時には研修仲間との飲酒もあり、翌日の90分の講義が長くきつく感じられることもあったが、実習等もあり、結構時間を忘れられた。「レファレンスサービスの実際」という課目は2日間にまたがったが、グループ単位で「SCI」「SSCI」「A&ACI」という二次資料を使って目的の書誌事項を協力して検索しあったのはお互いの親交を深める良い機会であった。

研修期間中にはソフトボール大会もあり、図書館情報大の職員、同大の司書講習の実習生、それに研修生の三者の間で行なわれ、夕日を真正面に悪戦苦闘した思い出は今でも忘れられない。

研修の2週目は東京に移り、宿泊先の竹橋会館を軸に、学術情報センター、国会図書館、文部省、三田情報センター、東大図書館、同大大型計算機センター、電気通信科学館、国文学研究資料館、東工大図書館、日本経済新聞社等で見学、研修があった。東大の大型計算機センターではTOOL-IR/OR/ONのシステムを使ってCAS等の化学文献を検索した。国文学研究資料館では万葉集、古今和歌集の古典テキストをデータベース化し、テキスト中の語句を随意に検索できる。電気通信科学館では「百聞は一見にしかず」のことわざ通りで光ファイバー、電話器、パラボラアンテナ等通信機器について模型や図解があり、ガイドの説明もあって、一目でわかるようになっている。現在、高度情報通信システム(INS)の開発にとりこんでおり、映像、コンピューターデータ等多様な情報をひとつのネットワークで結ぶという。電話で相手の顔を見ながら通話もできる日も近い将来やってくるのではないかと思われた。模技実演のテレビ会議では居ながらにして遠方の人と自由に討議が出来、様々な面に活用出来るのではないかと思われた。日経の見学では新聞記事のデータベース化が行なわれており、目的の記事を検索出来るしくみになっている。

3週目は再び図書館情報大学に戻った。騒々しい東京から解放されて、久しぶりにみる筑波には人影もない程寂しいところであるが、なつかしく思われた。筑波大学での「情報検索の実際」という課目では情報検索システムUTOPIAを使って、JMAR、LCMARC等の書誌を検索し、2日間に及んだ実習も帰るころには4角の端末機がまるみをおびてみえるようになったのは

収穫であった。同大での「大学図書館の建築と設備」の研修ではスライドを使って、アメリカの大学の図書館の紹介があり、建物、設備、デザイン等何事にも規模が大きく、飾りつけではアトホームの感じのするものもあり、各大学の特色ある建築をみると彼我の大学図書館の違いを見る思いであった。

研修最後の共同討議では各大学の電算化の状況、学情センターの問題等活発な意見も出て、討議をもちたてた。

3週間に及んだ研修にはその他にもいくつかの興味ある課目もあり、実りある研修であったが、学情センターへの今後のあり方、豊富なデータベースを備え、それを自由に享受出来る大学と遠方の資料でさえ少ない大学との較差の存在、図書館の電算化における学内のLAN (Local Area Network) との関係等様々な課題が残されている。振り返ってみるに、今回、この研修に参加し、様々な貴重な経験をさせて頂いて、本当によかったと思う。ネットワーク44と名称されたこの研修で、全国の国公立大学から集まった第19期43名の仲間を知りえたことを最良の収穫とし、とりわけ終始行動を共にし、長い研修を楽しく送らせてくれた4名の方々の仲間に感謝したい。この研修の機会を与えて下さった主催者の文部省並びに図書館情報大学に心から謝意を表します。

(とよひら ともみ：医学部分館 整理係長)

第1回国立大学図書館協議会シンポジウム(西会場)参加報告

本郷 清次郎

10月22日から23日にかけて京都大学附属図書館において開催された標記のシンポジウムに参加してきました。

22日午後に第1部(図書館業務のシステム化と目録システム)、23日は午前には第2部(相互協力の推進(1)現物貸借・文献複写)、午後には第3部(相互協力の推進(2)大学図書館の公開)という日程とテーマでした。

第1部の話題の中心は学情センター目録システムのリンクのオプション化と書誌構造の単純化、それに図書館電算化における目録システムの優先ということでした。典拠リンクのオプション化については参加者からは慎重論が多く出ましたが、東工大の倉橋部長は目録システムの根本にも関わる学情データベースの増加のためにも、登録作業の負担軽減につながるこの選択は必要であったことを強調されていました。後者に関しては先発館がハウスキーピング優先であったのは仕方ないとしても、カード式目録が限界にきているこれからは利用者にとっても大きなメリットが期待できるOPAC指向の目録システムの電算化が第一になされるべきである、との主張が東大の永田専門員からなされました。

第2部では現物貸借サービスの理念をどのように徹底させるか、それを自館蔵書にどのように反映させるか、自館所蔵のユニークタイトルの把握をどうするか、などの問題が提起されました。こ

れに対しては、学内総合目録や学内規定を整備し実績をあげて学内のコンセンサスを得ること、蔵書整備を行うために図書館の自由に使える予算を確保することなどの必要性が指摘されました。また課題として、使送、宅急便の利用、現物持参の複写依頼の料金を他と区別すべきか、などの問題点があげられました。

第3部では大学図書館というものは公共図書館の役割を分担するものではなく、あくまでも大学図書館として公開を拡大していくべきであるとの結論でした。ほぼ全面的に公開している琉大の場合は事情が特殊な例として扱われてしまいました。

少人数で、最後には感想文も提出させられたりするなど、気の抜けないハードな雰囲気のスィンポジウムでしたが、日頃は日常業務に忙殺されて考えることを忘れてしまっていた図書館の理念とか、利用者の立場からの発想ということについて考えさせられたよい機会でした。

(ほんごう せいじろう：学術情報係長)

昭和63年度新規購入 和雑誌

誌名	配架場所	誌名	配架場所
1 看護学雑誌	医分館	11 バレーボール ジャパン	本館
2 キネマ旬報	本館	12 ハンドボール	〃
3 金属表面技術	工学部	13 ラグビーマガジン	〃
4 月刊バスケットボール イラストレイテッド	本館	14 留学ジャーナル	〃
5 月刊陸上競技	〃	15 労働判例	〃
6 サッカーマガジン	〃	16 Annals of Institute of Statistical Mathematics	数 学
7 青年心理	〃	17 NBL(New Business Law)	本館
8 日経コンピュータ	〃	18 NHK 放送研究と調査 (文研月報の改題)	〃
9 日経パソコン	〃	19 Proceedings of the Japan	数 学
10 熱帯林業	農学部		

1988年度新規購入 外国雑誌

誌名	配架場所	誌名	配架場所
1 ACI Concrete International Structural Journal	工学部	5 Biological Conservation	本館
2 American Journal of Psychotherapy	本館	6 Biological Psychology	〃
3 Archives of Clinical Neuropsychology	〃	7 Biophysical Journal	医分館
4 Annual Book of ASTM Standards	工学部	8 British Journal of Clinical Pharmacology	〃
		9 CAMBIO-16	本館

誌名	配架場所	誌名	配架場所
10 Cement Concrete and Aggregate	工 学 部	31 Journal of Adolescence Health Care	〃
11 Communications in Partial Differential Equation	数 学	32 Journal of Aetheties and Art Criticism	本 館
12 Coputers and Geoscience	本 館	33 Journal of Arnold Arboretum	医 分 館
13 Cuadernos Hispano-Americanos	〃	34 Journal of Dental Research	医 分 館
14 Current Contents (Physics, Chemistry and Earth Science)	〃	35 Journal of Geophysical Research; Space Physics Section A	工 学 部
15 Cybium	〃	36 The Journal of Mental Imagery	本 館
16 Discrete and Computational Geometry	数 学	37 Journal of Music Theory	〃
17 EL Pais	本 館	38 Journal of Metamorphic Geology	〃
18 Enviromental Conservation	〃	39 Journal of Pharmacokinetics and Biopharmaceutics	医 分 館
19 Esta seta Literaria	〃	40 Journal of Phycology	本 館
20 Gene	医 分 館	41 Leprosy Review	医 分 館
21 Geo Abstracts C (Economic Geography)	本 館	42 Letters in Mathematical Physics 8N	数 学
22 Geo Abstracts D (Social and Historical Gography)	〃	43 Neuroscience Letters	医 分 館
23 Glasnik Mathematicki	数 学	44 Palaeogeography, Palaeoclimatology, Palaeoecology	本 館
24 Hispanic Review	本 館	45 Psychotherapy	〃
25 Houston Journal of Mathematics	数 学	46 P. S. Z. N. I: Marine Ecology	〃
26 IEEE Transaction Power Systems	工 学 部	47 Queueing Systems	工 学 部
27 IEEE Transaction Power Electronices	〃	48 Revista de Estudios Hispánicos	本 館
28 IEEE Transaction Power Delivery	〃	49 Revista de Littratura Hispanamerica	〃
29 Insula:Revista Bibliografica de Cienecas y Letras	本 館	50 Social Insects	農 学 部
30 Journal of Adolescence	医 分 館	51 Southern Economic Journal	本 館

昭和63年度購入中止 和雑誌

誌名	誌名
1 映画芸術	6 信濃
2 オペレーションズ リサーチ	7 数理科学
3 技術家庭教育	8 日本草地学会誌
4 計測と制御	9 リハビリテーション医学
5 雑草研究	10 留学と会話

誌 名

11 歴史地理

誌 名

12 Journal of General and Applied Microbiology

1988年度購入中止 外国雑誌

誌 名

- 1 Acta Chemica Scandinavica series B
- 2 American Fisheries Society Subscription
- 3 American Journal of Primatology
- 4 American Journal of Mathematical and Management Science
- 5 Applied Microbiology and Biotechnology
- 6 Behavioral Neuroscience
- 7 Biotechnology Letters
- 8 Calcified Tissue International
- 9 Canadian Journal of Fisheries and Aquatic Science
- 10 Coastal Engineering
- 11 Communications in Statistics
- 12 Earthquake Engineering & Structural Dynamics
- 13 Economic History Review
- 14 Electroencephalography and Clinical Neurophysiology
- 15 Enzime and Microbial Technology
- 16 Environmental Pollution Ser. A, B
- 17 Experientia
- 18 Fisheries: Bulletin of the American Fisheries Society
- 19 Folia Primatologica
- 20 Geo Journal
- 21 Geographica Helvetica
- 22 Geographical Magazine
- 23 Geographische Rundschau
- 24 Geologische Rundschau
- 25 Information and Control

誌 名

- 26 International Journal of Primatology
- 27 International Journal of Systems Science
- 28 Journal of Zoology
- 29 Journal of International Association for Mathematical Geology
- 30 (Mathematical Journal)
- 31 Journal of Optimization Theory and Applications
- 32 Journal of Sedimentary Petrology
- 33 Malaysian Journal of Tropical Geography
- 34 Matematikai lapok
- 35 Music Perception
- 36 North American Journal of Fisheries Management
- 37 Oryx
- 38 Padobiologia
- 39 Petermanns Geographische Mitteilungen
- 40 Phycologia
- 41 Process Biochemistry
- 42 Progressive Fish Culturists
- 43 Psychological Reports
- 44 Quarterly of Applied Mathematics
- 45 Revista Geografica
- 46 Scholastic Coach
- 47 Statistical Theory and Abstracts
- 48 UNESCO Periodicals(Museum)
- 49 UNESCO Periodicals(Nature and Resources)
- 50 UNESCO Periodicals(Prospects)

< 図書館業務電算化通信 No 7 >

ILIS正式版の導入

附属図書館で導入している富士通の大規模図書館業務向けパッケージであるILISはこれまで暫定版で行っていましたが、8月から正式版への切替えを進めてきました。その導入作業が11月いっぱいまで完了しました。今回はILISの提供している五つのシステムのうち、閲覧、雑誌受入、目録作成（ローカル、学情センター接続）、目録検索の四システムだけで、残る図書受入の導入は次回送りとなりました。当面はデータの点検、メンテナンスのルーチンワーク化等に力をかけることとなります。

図書館業務電算化日録

昭和62年9月～10月

- 9月7日(月) 閲覧システム正式版導入作業（～24日）
- 8日(火) ワーキンググループ（第2回）
情報処理センターとの進行状況確認打合せ
- 10日(木) 実務者打合せ（第20回）
- 19日(土) NMC 入替え
- 21日(月) ILIS機能説明会（雑誌受入）
- 22日(火) 富士通、情報処理センターとの打合せ（スケジュール確認）
- 24日(木) ILIS雑誌受入システム正式版導入作業（～25日）
- 29日(火) ILIS雑誌受入オペレーション教育
- 10月1日(木) 医分館閲覧業務稼働開始
- 2日(金) 富士通、情報処理センターとの打合せ（スケジュール確認等）
ILIS機能説明会
- 5日(月) ILISローカル目録作成システム正式版導入作業
- 7日(水) ILISローカル目録作成オペレーション教育
- 9日(金) ILIS学情センター接続システム正式版導入作業
- 16日(金) ILIS学情センター接続オペレーション教育
- 19日(月) ILIS目録検索システム正式版導入作業
- 21日(水) ILIS目録検索オペレーション教育（9：00～12：00）
- 22日(木) 情報処理センター端末パスワード更新

琉球大学附属図書館貴重書取扱要項

(昭和62年9月22日
制 定)

(趣旨)

第1条 この要項は、琉球大学附属図書館利用規程第17条に基づき、貴重書(資料を含む。以下同じ。)の認定及び利用に関し、必要な事項を定める。

(認定)

第2条 貴重書の認定は、貴重書認定基準(別表)により、館長又は分館長が行う。

(利用)

第3条 貴重書を閲覧、複写又は撮影しようとする者は、貴重書利用許可願(別紙様式)を館長又は分館長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 貴重書の複写又は撮影にあたっては、係員の立会いの下に行い資料を損傷しないよう注意しなければならない。

3 複写物を出版物等へ掲載するにあたっては、資料の所蔵機関を明記しなければならない。

第4条 貴重書は、係員の指定する場所で利用し、館外へ持出してはならない。ただし、特に館長の許可を得た場合はこの限りでない。

(保管)

第5条 貴重書は、一般書と区別して保管しなければならない。

(沖縄関係資料)

第6条 沖縄関係資料については、琉球大学附属図書館沖縄関係資料に関する取扱要項(昭和62年9月22日制定)の定めるところによる。

附 則

この要項は、昭和62年9月22日から施行する。

別 表 (第2条関係)

貴重書認定基準

1. 和 書

イ 刊 本

- (1) 慶長以前に印刷されたもの。
- (2) 元和以後に印刷されたもののうち、伝本が少なく資料的価値があると認められるもの。
- (3) 元和以後に印刷されたもののうち、名家の書き入れ等により、特に資料的価値があると認められるもの。

- (4) 元和以後に印刷された図画等のうち、資料的又は芸術的価値があると認められるもので、稀本と認められるもの。

ロ 写本

- (1) 慶長以前に書写されたもの。
 (2) 元和以後に書写されたもののうち、伝写本が少なく資料的価値があると認められるもの。
 (3) 名家直筆の稿本及び書簡の類。
 (4) 名家手写本のうち、特に資料的価値があると認められるもの。
 (5) 名家の書き入れ等により、特に資料的価値があると認められるもの。
 (6) 図画等のうち、資料的又は芸術的価値があると認められるもの。
 (7) 公の記録若しくは公の文書類の原文又はこれに準ずるもので、資料的価値があると認められるもの。

2. 中国書

イ 刊本

- (1) 明代正徳以前に印刷されたもの。
 (2) 明代嘉靖以後に印刷されたもののうち、伝本が少なく資料的価値があると認められるもの。
 (3) 明代嘉靖以後に印刷されたもののうち、名家の書き入れ等により、特に資料的価値があると認められるもの。
 (4) 明代嘉靖以後に印刷された図画等のうち、資料的又は芸術的価値があると認められるもので、稀本と認められるもの。

ロ 写本

- (1) 明代以前に書写されたもの。
 (2) 明代以後に書写されたもののうち、伝写本が少なく資料的価値があると認められるもの。
 (3) 名家自筆の稿本及び書簡の類。
 (4) 名家手写本のうち、特に資料的価値があると認められるもの。
 (5) 名家の書き入れ等により、特に資料的価値があると認められるもの。
 (6) 図画等のうち、資料的又は芸術的価値があると認められるもの。
 (7) 公の記録もしくは公の文書類の原文又はこれに準ずるもので、資料的価値があると認められるもの。

3. 洋書

- (1) 16世紀以前に印刷されたもの。
 (2) 17世紀以後に印刷されたもののうち、特に資料的価値があると認められるもの。
 (3) 名家自筆の稿本及び書簡の類。
 (4) (3)に掲げるものを除く写本のうち、資料的価値があると認められるもの。
 (5) 図画等のうち、資料的価値があると認められるもの。

(6) 日本及び東洋関係図書のうち、17世紀以前に印刷又は書写されたもので特に資料的価値があると認められるもの。

4. 次に掲げるもののうち、特に芸術的又は資料的価値があると認められるもので、稀少なもの。

- (1) 錦絵、版画又は双六類
- (2) 拓本類
- (3) 古地図
- (4) その他の1枚物（有名人の書画等）

琉球大学附属図書館沖縄関係資料に関する取扱要項

（昭和62年9月22日
制 定）

（趣旨）

第1条 この要項は、琉球大学附属図書館利用規程第17条の規程に基づき、沖縄関係資料に関し必要な事項を定める。

（沖縄関係資料の範囲）

第2条 沖縄関係資料の範囲は、沖縄県全域及び奄美諸島全域（トカラ列島を含む）を主題としたもの並びにその地域で出版された刊行物等とする。

（収集）

第3条 沖縄関係資料は、予算の範囲内で、可能な限り収集する。

2 沖縄関係資料の大型収集計画は、沖縄関係資料調査収集小委員会に付託する。

（目録）

第4条 沖縄関係資料の目録は、次の各号に掲げる方法とする。

- (1) 目録法は、一般図書の目録法に準ずる。
- (2) 一般図書の目録とは別に沖縄関係資料目録を編成する。
- (3) 適当な時期に冊子目録を発行する。

（分類）

第5条 沖縄関係資料の分類は、沖縄関係資料分類表（別表）による。

（貴重資料）

第6条 沖縄関係資料のうち、貴重資料は、次の各号に掲げるものとする。

- (1) 明治45年以前発行の資料
- (2) 他に類似資料がないもの。
- (3) その他貴重と認められる資料

（閲覧）

第7条 前条に規定する貴重資料は、特に館長の許可がない限り閲覧できない。

ただし、複製本を作成して閲覧に供することができる。

2 昭和20年以前発行の資料は、館内閲覧を原則とする。

3 昭和20年以後において発行された沖縄関係資料のうち、重複本のあるものは、開架閲覧及び館外貸出を行うことができる。

附 則

1 この要項は、昭和62年9月22日から施行する。

2 琉球大学附属図書館沖縄関係資料に関する申し合せ（昭和61年3月10日制定）は、廃止する。

琉球大学附属図書館ファクシミリ利用内規

（昭和62年8月1日
制 定）

（趣旨）

第1条 この内規は、附属図書館に設置されているファクシミリの利用に関し、必要な事項を定める。

（利用者の範囲）

第2条 ファクシミリを利用できる者は、本学の職員とする。

（利用の範囲）

第3条 ファクシミリの利用の範囲は、次の各号に掲げるとおりとする。

(1) 国立国会図書館、沖縄県立図書館及び大阪大学附属図書館中の島分館等相互貸借関係にある機関。

(2) 上記以外のもので館長が特に認めたもの。

（利用の方法）

第4条 ファクシミリを利用しようとする者は、係員に申し出て、ファクシミリ申込簿（別紙様式）に必要事項を記入し、館長の許可を得なければならない。

（料金）

第5条 料金は、利用者の負担とする。ただし、館長が認めたものについては、図書館の負担とすることができる。

（利用時間）

第6条 利用時間は、次のとおりとする。

月曜日から金曜日 9時から16時30分まで

土曜日 9時から12時まで

附 則

この内規は、昭和62年5月1日から施行する。

国立台湾大学から“冠船日記”の マイクロフィッシュを受贈

去る3月3日から6日にかけて、國府田前館長と山田閲覧課長が台湾を訪問し、台湾の各図書館と当館が相互協力により文献資料の交換を推進していくことが確認された。その一環として、国立台湾大学から「冠船日記」のマイクロフィッシュ23枚の寄贈を受けた。これに対する見送りとして当館では史学雑誌「史林」13,000枚を電子複写して送る準備をしている。また国立中央図書館からは台湾の学術文献（単行本および紀要類）と本学の刊行文献との相互交換依頼もきており、各学部を選択をお願いして回答のあった91点を寄贈依頼した。当方からは「使琉球雜録」等17点45冊を、中琉文化經濟協會（那覇在）を通して、国立中央図書館へ送った。

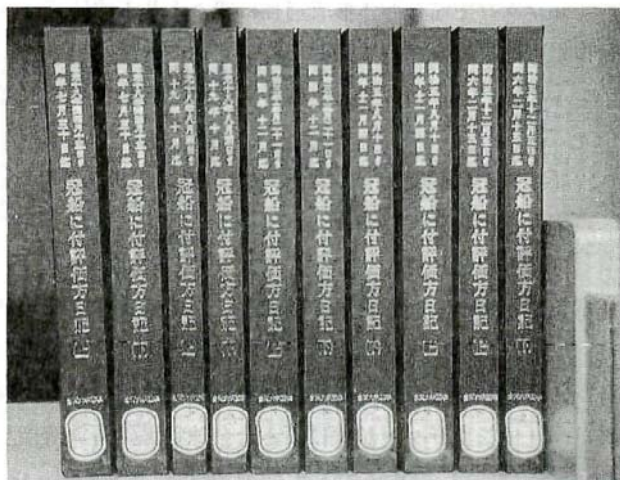
さらに9月25日には国立中央図書館台湾分館長朱大松氏が来館し、「日文旧籍目録」等7点の寄贈を受けた。

以上にみるとおり台湾の図書館と当館の相互協力は順調なすべり出しをみせており、今後ますます活発になっていくものと思われる。

琉球王国時代に、冊封使は1404年（武寧9）から1866年（尚泰19）の約460年間に22回来琉している。今回の「冠船日記」はその中の道光18年（1838）（尚育4）から同治3年（1864）（尚泰17）までのものである。

寄贈された「冠船日記」はマイクロフィッシュにして23枚、約2,000ページ分である。この「冠船日記」は県内の各方面のご協力によってこのたび当館が寄贈を受けることになった。したがって県内の研究者や図書館等から複写依頼があれば協力する予定である。

なお、当館では沖縄マイクロセンターに依頼して、マイクロフィッシュを紙焼つけし、10冊に分割して製本した。表題は現物の表記のとおり「冠船に付評價方日記」とした。



本学教官著作寄贈コーナー

昭和62年2月から昭和62年10月までにご寄贈いただいた分を掲載します。(敬称略)

- 嘉数 啓 (経済学科) 「島しょ経済論」 ひるぎ社 1986
 Agriculture:Its Long-Term Role in Hawaii's Economy. 1986.
 Interdisciplinary Studies On Culture and Society of the Southeast Asian Countries. 1986.
 Reprinted from the Singapore Economic Review Vol.30 No.2 October 1985.
 Trade and Development of Small Island Economies with Particular Emphasis on the South Pacific. 1986.
- 島袋 邦 (法政学科) 「沖縄と東アジア、東アジア間の国際交流の歴史と展望に関する学際的研究」 法文学部 1986.3
- 江上能義 (法政学科) 「タイランド ハイサイ!ー夢と現実のはざまで」 法文学部 江上ゼミナール 1987.7
- 阿波根直誠 (教育学部) 「沖縄の師範学校における郷土室について (I) 琉球大学教育学部紀要 第28集 第1部印刷 1985
- 玉城政光 (教育学部) 「教育講和と髓筆ー行動工学の視点から」 ひるぎ社 1987
- 玉城昭子 (教育学部) 「玉城嗣久著 沖縄占領教育政策とアメリカの公教育」 東信堂 1987.6
- 野原朝秀 (教育学部) 「沖縄島の新生代貝形虫 (教育学部紀要 第30集 第2部 別冊) 教育学部 1987.3
- 小林正秀 (教育学部) 「大学美術教育学会誌 第19号 昭和61年度」 小林正秀他編 大学美術教育学会 1987.3
- 加納隆至 (保健学科) 「エリアの火」 加納隆至・加納典子共著 どうぶつ社 1987.3
- 保健学科 「5周年記念業績目録集 昭和56年4月~61年3月」 医学部保健学科 1987.
- 山里 清 (生物学科) 「サンゴ生殖と群体形成過程に関する基本的研究」 1987.3
 「珊瑚礁棲無脊椎動物相に関する研究」 1987.3
- 氏家 宏 (海洋学科) 「沖縄・八重山群島石西礁と周辺海域自然環境の現況と形成過程」 海洋出版 1987.3
- 木村政昭 (海洋学科) 「地震と地殻変動」 九州大学出版会 1985.9
 「噴火と大地震」 東京大学出版会 1978.8
 「日本列島が危い」 二見書房 1987
- 物理学科同窓会 「琉球大学物理学科同窓会誌 創刊号」 琉球大学物理学科同窓会 1987.6
- 上原方成 (土木工学科) 「石垣市民会館 指名設計競技作品集」 石垣市企画室 1986
- 長田孝志 (機械工学科) 「湿り空気を用いる小湿度差熱交換器における凝縮熱伝達」 1987.3
- 糸村昌祐 (機械工学科) 「インプラント試験による合金球状黒鉛鉄溶接熱影響部の限界破断応力の検討 1987.3

- 上間 清 (土木工学科) 「沖縄の石造構造物に関する土木的研究」 1987.5
- 島袋駿介 (建設工学科) 「沖縄における伝統的建築技術の伝播と定着に関する研究」 島袋駿介
他著 住宅建築研究所 1987.8
- 「沖縄の石造文化」 沖縄出版 1987.9
- 仲村実久・田幸正邦・高良 満 (農芸化学科) 「甘蔗汁の限外濾過膜透過性」 1985.1
Membrane Permeability of Cane Juice on Ultrafiltration With Several Kinds of Membrane.1985.
- 國府田佳弘 (農業工学科) 「サトウキビの総合利用システムに関する研究」 國府田佳弘他著
1987.3
- 翁長謙良 (農業工学科) 「赤土流出機構及び流出防止対策に関する調査研究」 翁長謙良他著
沖縄協力 1987.3
- 「沖縄島北部地方における土壌侵食の実証的研究」 1987.
- 東 清二 (農学科) 「沖縄昆虫野外観察図鑑 全4巻」 沖縄出版 1986.
- 池田孝之 (教養部) 「戦後沖縄都市計画の法制と市街地形成に関する実証的研究」 1987.3
- 比嘉政夫 (短期大学部) 「女性優位と男系原理—沖縄の民俗社会構造」 凱風社 1987.6
- 若尾典子 (非常勤講師) 「みちかな女性学」 沖縄タイムス社 1987.5
- 琉球大学公開講座委員会 「琉球大学放送公開講座 1～4」 琉球大学 1987.
- ① 国際化時代と生涯教育、② 沖縄の農業、③ 音楽芸術教育の理論と実践、④ 沖縄のサン
ゴ礁
- 「せんばる」刊行会 「せんばる」創刊号 1987.2

図 書 館 事 情

〔第173回図書館運営委員会〕

日 時：昭和62年9月22日(火)10：00～

場 所：図書館会議室

議 題：1. 1988年共同利用購入外国雑誌について、2. 1988年共同利用購入国内雑誌について、
3. 「琉球大学附属図書館貴重図書取扱要項」(案)について、4. 「琉球大学附属図書館
沖縄関係資料に関する取扱要項」(案)について、5. 昭和62年度沖縄関係文献資料
保存事業計画について、6. その他

報告事項：1. 学術雑誌見直し検討委員会報告、2. 沖縄研究資料調査収集小委員会報告、3. 視
聴覚機器運用専門委員会報告、4. 大型資料(外国学術図書)について、5. 矢内原忠
雄先生蔵書の寄贈について、6. 業務電算化について、7. 国立大学図書館協議会総会
について、8. その他

〔出 張〕

昭和62年8月29日(土)受入係・棚原淳治 昭和62年度九州地区国立学校等会計事務研修・阿蘇町・9月5日まで

昭和62年9月2日(木)受入係長・松原敏夫 昭和62年度九州地区国立大学図書館協議会実務者連絡会議出席 佐賀・4日まで

昭和62年9月10日(木)総務係長・照谷浩一 第18回九州地区国立大学図書館協議会及び第39回九州地区大学図書館協議会総会等の開催に関する打合わせ、佐賀・12日まで

昭和62年9月25日(金)整理課長・尾崎一雄 電算化に関する打合せ、京都・26日まで

昭和62年10月5日(月)事務部長・重松多喜造 昭和62年度国立学校等幹部職員研修、東京・8日まで

昭和62年10月22日(木)学術情報係長・本郷清次郎 第1回国立大学図書館協議会シンポジウム参加、京都・24日まで

昭和62年10月28日(木)館長・米須興文、事務部長・重松多喜造 昭和62年度全国図書館大会出席及び文部省への事務連絡、東京・30日まで

〔来館者〕

昭和62年9月25日(金)台湾国立中央図書館台湾分館・朱大松館長、王曾均主任

昭和62年10月2日(金)岡山大学・久留島陽三教授、大友信一教授

昭和62年10月14日(木)中琉文化経済協会中琉文物考察団、6名

国立国会図書館行政、司法各支部図書館職員、26名

〔人事異動〕

(昭和62年10月1日付)

館長 米須興文 法文学部 教授

整理課長 橋本健一 前大阪大学附属図書館整理課長補佐

前整理課長 尾崎一雄 京都大学附属図書館閲覧課長へ

(図書館運営委員会委員)

医学部選出の委員が次のとおり変わりました。

職名	専攻	氏名	任期
教授	保健技術学講座	島田勝政	昭62・7・16～昭63・9・30
教授	内科学第一講座	齊藤厚	昭62・10・1～昭63・9・30

(永年勤続者表彰)

昭和62年11月17日 整理係長 金城照子 昭和62年度琉球大学永年勤続者表彰。

医学部分館コーナー

〔第18回運営委員会〕

日 時：昭和62年3月5日(木) 16:00～
場 所：医学部分館会議室
議 題：図書（和書・叢書類）の選抜について
報告事項：

1. 情報検索（DIALOG）の利用案内について、
2. 視聴覚機器について、
3. 医学科大学院設置視察について、
4. 1987年度共同利用購入国内雑誌について、
5. 研究用図書確認調査について（長期貸出）、
6. ファクシミリの導入について、
7. 春休みの夜間開館について

〔第19回運営委員会〕

日 時：昭和62年9月30日(木) 16:00～
場 所：医学部分館会議室
議 題：医学科大学院設置に伴う昭和63年度購入コア・ジャーナルの選定について
報告事項：

1. 閲覧業務の電算化について、
2. 講座もの叢書類等の購入について、
3. 昭和61年度購入バックナンバーについて、
4. 大型外国学術図書購入について、
5. 第35回九州地区医学図書館協議会総会について

〔新任医学部分館運営委員〕

佐藤良也教授（寄生虫学）昭和62年7月1日～昭和63年3月31日
島田勝政教授（保健技術学）昭和62年7月16日～昭和63年9月30日
斎藤 厚教授（内科学）昭和62年10月1日～昭和64年9月30日

〔医学部オリエンテーション〕 医学科2年次 115名

日 時：昭和62年10月9日(金) 11:00～11:40
場 所：基礎講義棟 104教室

〔寄贈図書〕

昭和62年5月から昭和62年10月までにご寄贈いただいた主な分を掲載します。

小田小夜子「日本眼科全書」他169冊（京大・伊谷純一郎教授を通じて受領）

〔閲覧業務電算化について〕

約25,000冊の図書が入力され、10月1日からコンピューターによる閲覧業務が稼働しました。これにより貸出・却返処理はもとより、目録検索もできることになりました。ご尽力くださった情報処理センター、富士通等関係各位に厚くお礼申し上げます。

お知らせ

年末年始の休館及び開館時間について(本館・医学部分館)

12月25日(金)	開館	08:30~17:00
12月26日(土)	開館	08:30~12:30
12月28日(月)~1月4日(月)	年末年始のため休館	
1月5日(火)	開館	08:30~17:00
1月6日(水)より	夜間開館	
	月~金	08:30~21:00
	土	08:30~17:00

ブラウジング・コーナー

親父の権威

私の友人に囲碁好きがいて、相手のいないときは子どもに教えていた。その子がめきめき腕を上げてきて中学生になる頃には父親と互角に打てるようになった。そのうちに子供の方が強くなるのは目に見えていた。しかし何時まで経っても父親が白を保持し続けていた。親子で碁を削って互に上達しているのかと思いきや、3子くらいの差があるという。はて面妖など見ていたら、親父殿が3子置いて白を持って打っているではないか。ああ親父の権威未だすたれず。

(閲覧課 T. Y.)

琉球大学附属図書館報 “びぶりお” 第20巻 第4号 [通巻第77号]

昭和62年12月1日 発行

発行 琉球大学附属図書館 沖縄県西原町千原1番地

電話 (09889) 5-2221 内線(2143) 編集 びぶりお編集委員会